

10月6日(水) 毎日新聞
 夕刊一面より。
 そして、進路指導通信 89号を
 読み直して欲しい。
 ポイントは「好奇心」
 裏面参照

またまた突然ですが、今週はノーベル賞にまつわる特集を①

好奇心に従えば面白い



「はやり」に走らず「後進」にエール

「最も面白い研究とは、好奇心が原動力になった研究だ」。今年のノーベル物理学賞の受賞が決まった米プリンストン大学首席気象研究員の真鍋淑郎氏(90)は5日、米東部ニュージャージー州にある同大や自宅取材に応じ

た。地球温暖化予測の基礎を築いた自身の研究が評価され、たことに喜びを語りつつ、何度も「好奇心」という言葉を繰り返して、若い研究者に向けて「はやり」の研究に走らず、好奇心に基づいた研究をしてほしい」とエールを送った。

ノーベル賞・真鍋氏

同大で開かれた記者会見には、気候変動を研究する学生らも集まった。赤いネクタイ姿の真鍋氏は、スタンディングオベーションで迎えられると「大きな驚きであり、光栄だ」と少し顔を引き締めた。スウェーデンのラジオ番組で受賞者候補として直前に名前が挙がり、予感があったという。朝早くから起きて電話の前で待ち、受賞の連絡を受けると、娘2人に電話で報告し、喜びを分かち合った。会見場で見守った妻の信子さん(80)には「この場を借りて彼女に感謝したい」と語り、「(車の)運転中に考え事をしてしまう私の代わりに運転をしてくれた。おかげで研究に100%集中することができた」と笑

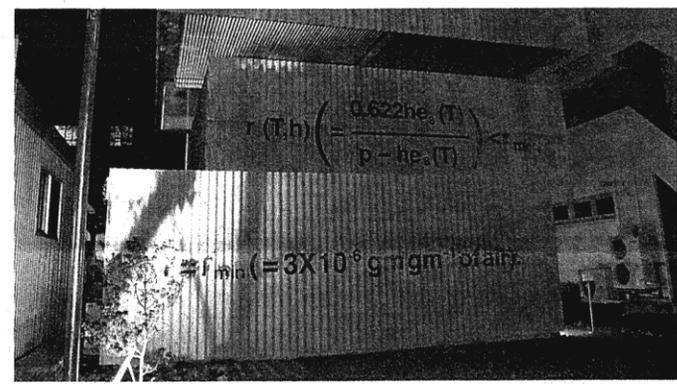
ノーベル物理学賞の受賞が決まり、記者会見で笑顔を見せる真鍋淑郎氏。米東部ニュージャージー州のプリンストン大学で5日

米政府・学界の連携強み

真鍋氏は米国籍を取得し、日本を飛び出した。その理由について「日本では人々はいつも他人の邪魔にならないかを心配するが、米国では自分がやりたいことができる。使いたいコンピューターもすべて手にできた」と説明。「これが日本に戻りたくない理由の一つだ。私には調和を重んじる生き方はできない」と語

った。また、政府と学界の間の意思疎通が十分に行われていることが米国の強みだとも強調した。気候変動は今や喫緊の問題になった。真鍋氏は「我々はもうやっつてこの気候変動を軽減させるかを考える必要がある。ただ、干ばつや洪水など、まさにいま起きている気候変動にどう対処するののかも見つけ

【米東部ニュージャージー州プリンストン隣後之、写真も】



泊まって地球を思う
 岡山のホテル壁に「方程式」

真鍋淑郎・米プリンストン大首席気象研究員が研究していた気象に関する方程式をデザインに取り入れたホテルが岡山市北区にある。写真。設計に関わったマウントフジアーキテクトゥススタジオ東京の代表の建築家、原田真宏さんは5日、受賞に「ホテルに泊まって温暖化など環境問題に興味を持ってもらえたらうれしい」と喜んだ。ホテルは岡山市中心部の観光地「岡山後楽園」近くにあり、建物には多くの数字や記号が書かれている。ホテル建設に関わったアーキテクトのリアム・ギリック氏が方程式を建築に取り入れた。原田さんは「(真鍋さんは)気象についての大切な考え方を方程式で示してくれた」と話した。

思うが、コンピューターに振り回されてはいけない。なぜこんなことが起きてくるのか。好奇心を満たす研究をやる。それが成功のもとと振り返った。

「重要性を持つ」
米紙が業績評価
 5日の米紙「ニューヨークタイムズ」はノーベル物理学賞に選ばれた真鍋淑郎さん(90)ら3人の業績について、地球温暖化による「危機的見通し」が予測される中、「これまで以上に切迫した重要性を持つ」と指摘した。

【ニューヨーク共同】

- ◆君達15歳！自由と可能性をもっている。だからこそ逆に自分の未来に対して不安と戸惑いがあるのかもしれない。（昔は職業選択の自由はなかったからね）「13歳のハローワーク」という本にこう書かれていました。

この世の中には二種類の人間（大人）しかいない。
それは「偉い人と普通の人」でもなく「金持ちと貧乏人」でもなく
「悪い人と良い人」でもなく「利口な人とバカな人」でもない。
それは「自分の好きな仕事、自分に向いている職業で
生活の糧を得ている人と、そうでない人」だ。

そして、自分の興味・関心・適正・能力が、
何に向いているかを考えるとき
「自分の好奇心」がポイントになる。
さらにその好奇心を失うと、
世の中（世界）を知ろうとするエネルギーも失ってしまう。・・・・と

- ◆確かに、大人になって、何らかの仕事で生活の糧を得なければなりません。
また、ある意味大人は（特に日本では）、自分の職業・仕事を通じて世界を見たり、物事を感じたり、考えたり、対処したりしている。
- ◆つまり、職業・仕事が「世の中＝世間」とつながる「入り口」になっている。
僕なら美術に好奇心があった。そして今、「美術教師という職業」に就き、その職業を通して世間を見ている。
- ◆保育士なら子どもに好奇心を持ち、保育士という立場で世間とつながっているということになる。看護師なら看護師の立場で、サラマンならその会社の立場で・・・
だから、職業・仕事（興味関心・適正能力＝好奇心）について考えなければならない。

さあ自分の好奇心でもって、これから先の自分を考えてください、
しっかりと自分を見つめてね。

- ◆でもでも
「まだまだ、先の事は考えられないよお」「自分が何に向いているのかわからないよお」という声も理解できる。確かに、先のことは神様しかわからない。

でもなるべく早く、自分の好きな学問やスポーツ、技術、職業などを選べるのであれば（どんな関係の仕事がしたいのかという方向性だけでも）、それだけアドバンテージ（有利性）が生まれてくると僕も思うからネ。

考えられない、わからない、何とかなるさ、今が楽しければ・・・

それでは、未来は切り開けないで！！

なりゆきまかせの客体から

自分の歴史をつくる主体に自分を変えろ！！

- ◆まだまだ将来の目標となる職業（夢）がない生徒も多いだろう。でも努力（学習）することを地道に続けることには変わらない。その努力の向こうに新しい世界が見えてくる!!

- ◆明日は、2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智（おおむらさとし）博士の話題を・・・